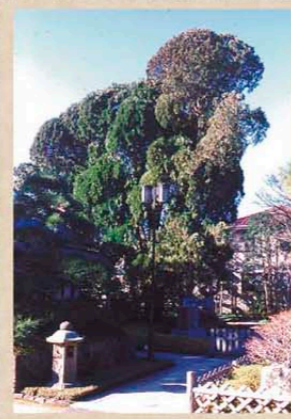


恋ヶ窪 ～その地名にまつわる話～

実に印象的な地名を持つのが「恋ヶ窪」です。湧き水が豊かな、古語で水を意味する「かみ」が「こい」に変化したと思われまふ。姿見の池にまつわる古い恋物語や、大岡昇平の『武蔵野夫人』の舞台としても有名です。



⑤ このてがしわ

【市指定 天然記念物】江戸時代に祥應寺が現在地に移ったとき一緒に移植されたといわれています。コノテガシワの巨樹は国内でも数少なく、以前は本堂の左右にありましたが、1本は枯れて現在は1本だけとなります。



⑥ 国分寺市民俗資料室

国分寺市内で実際に使われていた農作業の道具や、昔の生活を偲ばせる懐かしい民具などを展示しています。明治時代以降の街並みの移り変わりを伝える貴重な写真も興味を誘います。
【開館時間】10時～16時
【休館日】月曜(祝日に当たるときは翌日)、年末年始 入館無料
【お問合せ】TEL (042)324-7323

湧水を求めて、清らかな野川の源流へ。

武蔵野の川……野川

東京にありながら、まだまだ多くの湧き水が残っている武蔵野。国分寺から世田谷まで流れる野川も、いまから約3～5万年前に古多摩川が武蔵野台地を浸食してできた、国分寺崖線から湧き出る水が源流のひとつです。現在の国分寺市恋ヶ窪付近から湧き出る水や地下水が流れ込み、野川をつくり出しました。多摩川の支流として残され、世田谷区玉川にある二子橋付近で多摩川の本流と合流しています。



③ 西恋ヶ窪緑地 (通称: エクス山)
約1万㎡にもおよぶ、コナラやクヌギを中心とした雑木林です。江戸時代からの緑地で、かつてX状に交差する小道が通っていたことから「エクス山」の愛称で親しまれています。



① 姿見の池
鎌倉時代に鎌倉街道の宿場町として栄えていた恋ヶ窪の遊女たちが朝な夕なに自分の姿を池に映していたことが名前の由来といわれています。昭和に入り、一度埋め立てられてしまったものの、近年再び整備され、かつての姿を偲ぶことができます。

～姿見の池に伝わる恋物語～
源平争乱の頃、名将とうたわれた畠山重忠と遊女・扇妻太夫が恋に落ちました。しかし、太夫に思いを寄せる別の男が二人の仲を引き裂こうと「重忠が合戦で討ち死にした」と嘘をつき、悲嘆にくれた太夫は姿見の池に身を投げてしまったといひます。

② 一葉松 (東福寺境内)
扇妻太夫の死を哀れんだ里の人々が墓標として松を植えると、太夫の一人の思いが現れたのか、不思議な一本葉の松になりました。言い伝えの松はすでに枯れてしまいましたが、実生の松が植え継がれています。



④ 日立製作所 中央研究所 (庭園)
桜や紅葉など約27,000本もの樹木が茂る自然豊かな庭園です。林では野鳥を、湧き水が流れ込む大池では優雅な白鳥を見ることができます。春と秋の年2回(4月と11月)、一般開放しています。



王貞治氏 第1号国民栄誉賞記念碑
1977年に王貞治氏がプロ通算756号ホームランを打ち、世界新記録を樹立しました。同年、その実績から初の国民栄誉賞を受賞したことを記念して建てられたものです。

日本の宇宙開発発祥の地記念碑
米川英夫博士率いる東大生産技術研究所が日本初の小型ロケット(通称ベンシルロケット)の試射を行ったことから、「日本の宇宙開発発祥の地」として記念碑が建てられています。

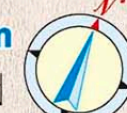
⑨ 貫井神社
国分寺崖線下の大きな岩の間から湧く美しい水は、「東京の名湧水57選」に選ばれています。小金井市内各所で湧き出す清水は、黄金にも値するとの意味から「黄金井」と呼ばれ、「小金井」の名の由来ともいわれています。



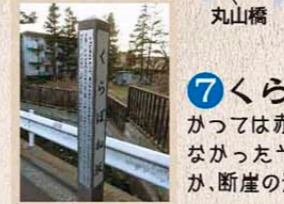
⑧ 新次郎池
5ヵ所から流れ込む湧き水で作られた池です。かつてはその清らかさが、わさび田として使われていました。東京経済大学の敷地内にありますが、一般の方も見学できます。「東京の名湧水57選」のひとつです。

【お問合せ】TEL (042)328-7724 東京経済大学 広報課

ルート歩行距離 約8.5km
200m



凡例
ウォーキングコース
車に注意
信号
トイレ
交差点名



⑦ くらぼね坂
かつては赤土の崖が切り立つ急な坂で、雨が降ると人も馬も滑って歩けなかったそうです。「くらぼね」とは、「鞍(馬)でも骨を折る」との説のほか、断崖の連続した段丘崖を意味するとの説があります。